

令和1年度

全国高校野球OBクラブ連合総会 議事録

日時 2019年11月 8日(金曜日) 13:30~16:00

場所 ホテルヒューイット甲子園・鳴尾の間(1階)

議題

- 1) 2018年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告
  - 資料1-1: 全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧
  - 資料1-2: マスターズ甲子園2018本大会プログラム
  - 資料1-3: 全国高校野球OBクラブ連合2018年度決算・監査報告
  - 資料1-4: マスターズ甲子園実行委員会2018年度決算・監査報告
- 2) 2019年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告
  - 資料2-1: 全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧
  - 資料2-2: マスターズ甲子園2019本大会プログラム
  - 資料2-3: 全国高校野球OBクラブ連合2019年度途中決算報告
  - 資料2-4: マスターズ甲子園実行委員会2019年度途中決算報告
- 3) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ
  - 資料3-1: 2020-2022シリーズ・申請枠募集結果
  - 資料3-2: 2020-2022シリーズ・申請枠抽選方法について
- 4) 2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業案
  - 資料4-1: マスターズ甲子園2020本大会プログラム案
  - 資料4-2: 全国高校野球OBクラブ連合2020年度予算案
  - 資料4-3: マスターズ甲子園実行委員会2020年度予算案
- 5) マスターズ甲子園2020-2022年シリーズ計画について
  - 資料5-1: マスターズ甲子園2020-2022シリーズ
- 6) 全国高校野球OBクラブ連合支援事業案について
  - 資料6-1: ワールドマスターズゲームズ2021関西について
  - 資料6-2: 競技開催日程について
  - 資料6-3: ボランティア募集について
- 7) 次期(2020-2021)理事選出案について
  - 資料7-1: 2020-2021年度全国高校野球OBクラブ連合 役員案
- 8) その他
- 9) マスターズ甲子園2020-2022シリーズ申請枠確定および組み合わせ抽選会

補足資料: マスターズ甲子園2019ガイドブック

全国高校野球OBクラブ連合 定款・細則

マスターズ甲子園本大会関係者への諸注意

○定刻より全国高校野球OBクラブ連合 長ヶ原 誠 理事長（以下、理事長と称す）の司会で、2019年度総会開催のあいさつを行い総会を開催した。

1、全国高校野球OBクラブ連合 戒能潤之介 副会長 挨拶。

マスターズ甲子園2019大会も素晴らしい大会にする為に皆様の協力をお願いしたい。皆さんで協力して成功させまじょうと陳べられた。

2、定足数の確認。

理事長より、加盟都道府県41、総会出席28、委任状受理13、総数41との報告で、総会出席者28であるので、全国高校野球OBクラブ定款30条の総数の3分の1以上の出席があり、本総会は成立するとの報告があり承認された。

3、議長選出。

理事長より自薦・他薦により推薦を求め、東京都・酒井様より理事会一任との事で、理事会より高山理事（神奈川県）（以下、議長と称す）を議長として選出し承認した。

4、議題確認。

議長が席に着き議題の確認をして議事進行に入る。

○議 題

1. 議題1、2018年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

○資料1-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧

○資料1-2：マスターズ甲子園2018本大会プログラム

理事長より2018年12月31日現在、41都道府県650校の加盟であり、新規加盟都道府県は、北海道、長野県・愛知県・和歌山県の4道県が新規加盟し、2018予選大会は16リーグで地方予選大会が開催され、11月10日・11日に大会プログラム通り無事に終了したとの報告で承認された。

○資料1-3：全国高校野球OBクラブ連合2018年度決算・監査報告

○資料1-4：マスターズ甲子園実行委員会2018年度決算・監査報告

資料1-3、理事長より収入合計5,940千円（新規加盟350千円・会費5,590千円）支出は、マスターズ甲子園補助金4,503,564円、連合運営費等1,074,628円で残り361,808円（新規加盟費・予備費）は積立金に充当したとの報告に続き、資料1-4、マスターズ甲子園実行委員会2018年度決算では、理事長より収入23,896,248円、で内訳は、連合補助金（4,503,564円）、参加料（8,000千円）、キャッチボール（810千円）、共催・協賛金（7,500千円）、広告・寄付・助成金（1,200千円）、収益金（1,783,800円）であり、支出合計は23,812,680円で内訳は、球場費（10,061,860円）大会運営費等（13,750,820円）で83,568円の次年度繰越金の報告がされた。

監査報告に進み、監査役の北野賀大氏より帳票等を精査した結果、適正に処理されている事の報告がされ、質疑応答はなく拍手をもって承認された。

## 2. 議題2、2019年度全国高校野球OBクラブ連合事業報告

○資料2-1：全国高校野球OBクラブ連合加盟校一覧

○資料2-2：マスターズ甲子園2019本大会プログラム

理事長より2019年10月11日現在、41都道府県677校の加盟であり、今年度の新規加盟都道府県は、香川県、秋田県が新規加盟し、2019予選大会は16リーグで地方予選大会が開催され、11校がマスターズ初出場との報告。資料2-2の説明で、例年通り2日間8試合の試合日程、選手宣誓は大阪府代表のPL学園高校OB会の桑田真澄様が行う事の説明と、参加選手総数722名、ボランティア数904名、キャッチボール数842名との説明で質疑応答はなく拍手をもって承認された。

○資料2-3：全国高校野球OBクラブ連合2019年度途中決算報告

○資料2-4：マスターズ甲子園実行委員会2019年度途中決算報告

資料2-3、理事長より収入合計6,610千円(新規加盟320千円・会費6,290千円)支出は、マスターズ甲子園補助金5,020千円、連合運営費等1,270千円で残り320千円(新規加盟費)は積立金に充当して、現状の残高は2,716,938円との報告に続き。資料2-4、理事長より収入24,259,568円、で内訳は、連合補助金(5,020千円)、参加料(8,000千円)、キャッチボール(1,576千円)、共催・協賛金(6,500千円)、広告・寄付・助成金(1,100千円)、収益金(1,980千円)であり、支出合計は24,259,568円で内訳は、球場費(10,350千円)大会運営費等(13,803,568円)で106,000円の次年度繰越金の途中決算報告がされて、パナソニック株式会社の協賛金が200万円に減額されているが、パナソニック賞として商品を提供して頂ける事の説明があり、その他、経費内訳として大会事務局経費、印刷費等の増加が想定される事の説明をして、質疑応答はなく拍手をもって承認された。

## 3. 議題3、マスターズ甲子園2020-2012シリーズ

○資料3-1：2020-2022シリーズ・申請枠募集結果

資料3-2：2020-2022シリーズ・申請枠抽選方法について

3-1、理事長より2020年大会の出場枠の説明で、今回から16枠から20枠に増加され申請都道府県は26リーグで新規加盟都道府県が香川県、秋田県の2県は優先決定しますので、残りの18枠を資料3-1・3-2の票数による抽選を行う事の説明と、群馬県、福島県、宮城県は2022年度に申請していますのでそれは決定との説明をして、質疑応答はなく拍手をもって承認された。

## 4. 議題4、2020年度全国高校野球OBクラブ連合事業案

○資料4-1：マスターズ甲子園2020本大会プログラム案

理事長より大会実施日の件で甲子園球場との事前の打ち合わせで、2020年度は東京オリンピック開催によるプロ野球の終了が遅くなる事により、11月の最終週か12月の上旬になる可能性が説明されて、試合は1日5試合で開会式は7時30分から行い、16時30分に終了で決定次第発表する事の説明があった。

質疑応答

島根県 石橋様より、開催が遅くなると日没がかなり早くなるので、最終試合はナイター照明を利用するのか、それとも試合を打ち切るのかとのご質問。

理事長より、球場使用料との兼ね合いもあるが、試合進行・安全を考慮してナイター利用を検討しているとの説明をして、その他の質疑応答はなく拍手をもって承認された。

○資料4-2：全国高校野球OBクラブ連合2020年度予算案

○資料4-2：マスターズ甲子園実行委員会2020年度予算案

4-2、理事長より2019年度の決算を踏まえて2020年度の予算計画の説明で、収入合計6,930千円（新規加盟費320千円・年会費6,610千円）支出合計6,930千円（大会補助費5,340千円・事務局運営費1,270千円）積立金320千円の予算案の説明に続き。

4-3、理事長より2019年度の決算を踏まえて2020年度の予算計画の説明で、収入合計26,146,000円（前年度繰越金予定含む・共催・協賛・広告・寄付・助成金等前年同様の計画）支出合計26,146,000円の内訳で、球場費の増加・大会運営費・事務局費等の説明をして、現状の各協賛社等への継続要請と新規協賛社への協力要請活動を行っていく事の説明をして、質疑応答はなく拍手をもって承認された。

5. 議題5、2020-2022シリーズ計画について

○資料5-1：マスターズ甲子園2020-2022シリーズ

理事長より、3年シリーズへの移行と共に1日4試合が5試合となり16枠から20枠に増加して、資料5-1の通り2020大会の申請枠に申請した26リーグ（秋田・香川を含む）の内、本日の抽選で20枠を決定して、申請枠を2021大会に申請した宮城、福島、群馬と、2020大会に抽選に入らなかった6リーグは2021大会となり、残り11枠を新規加盟都道府県を勘案して来年度に追加枠申請で決定する事の説明と、2022大会の追加枠は2021大会の追加枠に決定した都道府県は2022年の追加枠申請は出来ないが、ブロック枠での

出場は出来る事と2022大会の追加枠決定の都道府県もブロック枠での出場も可能であり、3年に2回は出場を担保できるとの説明をした。

#### 質疑応答

○東京都 林様より、2022年のブロック枠のシステムについて説明をして頂きたいとの質問があり。

理事長より、県で勝つかブロックで勝つかにより3年で2回は出場できるのと、方法等は今後の理事会で原案を作成して総会にて決定を説明する事を説明をして了解を頂き、その他の質疑応答はなく拍手をもって承認された。

#### 6. 議題6. 全国高校野球OBクラブ連合支援事業案について

○資料6-1：ワールドマスターズゲームズ2021関西について

○資料6-2：競技開催日程について

○資料6-3：ボランティア募集について

理事長より、ワールドマスターズゲームズ2021関西の大会概要の説明を詳細に行い、競技種目、日程、エントリー開始日時等を説明し、全国高校野球OBクラブ連合および加盟校も競技参加及び大会運営に参画して行く事の説明を、今まで以上に詳細に説明した。

#### 質疑応答

○東京都 林様より、硬式野球へのエントリーで具体的に出場可能な対象者及び対象チームはどうなっているのかとの質問があり。

理事長より、硬式野球の経験がなくても出場は可能である。又、本大会へのエントリーに於いては、チームの形態については問わないが、基本的には30歳以上の年齢基準をクリアしている事が条件となる事を説明をした。

○鹿児島県 村崎様より、全国高校野球OBクラブ連合としてワールドマスターズゲームズ2021関西を支援事業として進める際の具体的な事業内容はなんなのかとの質問があり。

理事長より、硬式野球競技の大会運営と大会運営に関わる一般ボランティア・審判・記録ボランティアの養成を執り行うとの説明をした。

○鹿児島県 村崎様より、本支援事業を実施する上で、新たに組織を作るのかとの

質問があり。

理事長より、その通りである。ワールドマスターズゲームズ2021関西硬式野球運営委員会として、全国高校野球OBクラブ連合事務局員、理事で構成されるメンバーで準備を進めるとの説明をした。

○埼玉県 野澤様より、関西と全国区の兼ね合いでワールドマスターズゲームズは、関西9府県を中心に開催される事が決まっているようだが、関西以外のOBチームは参加は可能なのかとの質問があり。

理事長より、出場は可能であるとの説明をした。

○埼玉県 野澤様より、ワールドマスターズゲームズは全国規模の団体、組織が支援しているのかとの質問があり。

理事長より、既に大会組織委員会と各府県体育協会で連携をとっている。又、サポーターとして、日本体育協会が付いているなど、全国規模での支援が展開されているとの説明をして、その他の質疑応答はなく拍手をもって承認された。

#### 7. 議題7. 次期(2020-2021)理事選出について

○資料7-1:2020-2021年度全国高校野球OBクラブ連合 役員案  
理事長より、資料7-1の資料の通り各ブロックより推薦された理事の選任の説明をして、質疑応答はなく拍手をもって承認された。

#### 8. 議題8:その他

○メディア対応について。

理事長より、配布資料に基づいた、メディアレギュレーションについて説明した。

#### 質疑応答

○鹿児島 村崎様より、このような施策を行ったのは、本大会にPL学園高校OBが出場するからではないだろうか。一つの高校が出場する事により、このような従来までになかった策をとる事は疑問が生じるとの質問。

理事長・前崎理事より、本大会にPL学園高校が出場する事により、メディアから事務局への問い合わせが増えているのは事実であり、しかし以前から甲子園球場と事務局との会議において、球場内でのメディア取材、写真撮影についての注

意を受けているのも事実であり、そのため、本大会ではより一層のメディア取材、撮影に関するルール作りを徹底するために、本レギュレーションを定めることに至ったとの説明をして、その他の質疑応答はなく承認された。

9. 議題9：マスターズ甲子園2020-2022シリーズ・申請枠確定および組み合わせ抽選会

○マスターズ甲子園2019大会の組み合わせ抽選会を行い下記の通り決定し承認された。

第1日目（土曜日）

第1試合 広島県代表 対 富山県代表  
第2試合 秋田県代表 対 奈良県代表  
第3試合 三重県代表 対 神奈川県代表  
第4試合 香川県代表 対 愛媛県代表  
第5試合 徳島県代表 対 東京都代表

第2日目（日曜日）

第1試合 大阪府代表 対 宮崎県代表  
第2試合 熊本県代表 対 北海道代表  
第3試合 兵庫県代表 対 愛知県代表  
第4試合 埼玉県代表 対 長野県代表  
第5試合 島根県代表 対 岐阜県代表

以上を以って議案の審議が終了したので議長は全議案の承認を出席者に確認し終了を宣言し、理事長の閉会の挨拶の後、16時08分に散会した。

尚、議事の経過並びに結果を明らかにするために、議長である高山（神奈川県）が本議事録を作成し及び総会出席者2名と計3名の署名押印をする。

令和 1年12月10日

議事録作成者

高山伸紀

(神奈川県)



令和 1年12月14日

議事録署名人

永野征樹

(福島県)



令和 1年12月16日

議事録署名人

小田浩二

(熊本県)

